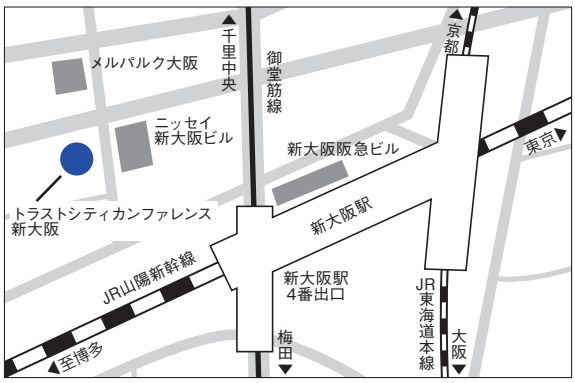
第37回
全国操体バランス運動研究会大阪大会

専門家から見た操体
── 操体の核心と多様性から普及を探る ──

日　時　2021年10月23日（土）

会　場
大阪会場：トラストシティカンファレンス新大阪　／　定員：50名
宮城会場：温古堂　／　定員：20名
東京会場：つむぐ指圧治療室　／　定員：15名

参加費用
会場参加　3,000円 (抄録集付)
オンライン参加（zoom）　2,000円 (抄録集デジタル版付)



大阪会場アクセス

【電車をご利用の場合】
- JR新大阪駅北口（新大阪阪急ビル直結）を出て2階に下り
- 地下鉄御堂筋線連絡通路を通って4番出口より徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線 新大阪駅4番出口より徒歩5分

〈大会運営〉　主　催：全国操体バランス運動研究会2021年実行委員会
共　催：温古堂・関西操体ネットワーク
事　務　局：コンディションラボ KITADA(大阪市旭区森小路2-1-1 / 06-6954-2963)

Schedule
スケジュール

9:30 ～ … 受付け

9:50 ～ … 開催挨拶

10:00 ～ 10:50 … **身体的特性と操体の有効性（北田　洋三先生）**

11:00 ～ 11:50 … **一番の主治医は、あなた自身（北村　翰男先生）**

12:00 ～ 12:25 … **身体から教わった自然体で生きること（落合　久美先生）**

12:25 ～ 13:15 … 休　憩

13:15 ～ 13:40 … **西式の合掌合蹠運動を操体的解釈運用する（三宅　悠平先生）**

13:50 ～ 15:15 … **左右の奥歯でしっかり噛めると姿勢維持のインナーマッスルを刺激する（川村　秋夫先生）**

15:30 ～ 16:45 … **軟骨再生療法から得た全身の運動連鎖の知見について（市橋　研一先生）**

Profile
プロフィール

市橋クリニック　院長
市橋　研一

日本整形外科学会専門医。医学博士。
　関西医科大学卒業後、神戸大学整形外科学教室に入局。
その後、公文病院整形外科、適寿リハビリテーション病院診療部部長、市橋クリニック副院長を経て、2000年より現職。オクラ水をはじめとする食事療法を軸とした独自の治療法で、整形外科疾患や生活習慣病の改善など、数多くの成果を上げている。

また、自身が開発した「ひざ軟骨再生療法」が注目を集め、変形性ひざ関節症やスポーツ外傷などに悩む人たちが通い続けている。

川村歯科医院　噛み合わせ矯正歯科
川村　秋夫

1951年　岩手県北上市生まれ。
1977年　東北大学歯学部卒業。大学口腔外科にて研修しインプラント材料、顎関節症のスプリント治療を研究後に開業。
1990年　顎関節症の治療のため運動療法・理学療法、オステオパシー、カイロプラクティック、鍼治療などの研修中に操体法と出会い、橋本雄二先生、稲田稔先生、今明宏先生の指導を受ける。
2016年　消化器がんを患い、操体法の「息食動想環境」を学び、口腔環境の改善を通して全身の健康を考えるようになる。
現在、口が開かない顎関節症、不安定な噛み合わせのための「アゴの体操・操体」を考案し工夫中。また睡眠・便通、夜間頻尿などを勉強しながら、周りの人々のお役に立てるために精進・修行を続けている。

（有）メディカルトレーナーズオフィス 代表
北田　洋三

1950年生まれ。1972年に同志社大学工学部を卒業後、身体の健康に興味を持ち地域医療に貢献すべく、鍼灸専門学校及び柔道整復専門学校で学ぶ。1976年、操体の創始者・橋本敬三先生に師事。以来、心身共にバランスのとれた身体作りを啓蒙・指導する。また予防医学面から健康管理の指導と実践を行う。自然の原理・原則をベースにしつつ、科学性をも追求しながら多くの医療関係者はもとより健康に関心のある様々な人々へ講習を重ねる。

資格・活動
鍼灸整骨院で治療を行うと共に運動療法研究所での代表を務め、かつ日本体育協会スポーツトレーナーとしての取り組みも行うなど活動は多岐にわたる。また柔道整復師養成専門学校では教務部長などを歴任する。

奈良漢方治療研究所･北村漢方鍼灸科･北村薬局
北村　翰男

1946年生まれ。大学時代に無理な練習がたたって椎間板ヘルニアと腰椎分離症になり、東大病院（分院）にて半年間いろいろ治療する中で、騙されたと思って鍼灸と漢方治療をしてみよとのことで半年間受療し改善。大学卒業後、細野診療所（京都）の細野史郎師に入門（17年間）。『万病を治せる妙療法』と出会い、東洋医学の真髄ここにありと直感する。薬局における健康相談機能に目覚め、地域における「無料公開講座」を開設。茨木伸明氏と共に「健康家族の会」を設立し、“薬局は一番身近な健康相談の窓口”と呼びかけて薬局薬店を対象に全国行脚する。

資格・活動
薬剤師・学校薬剤師・鍼灸師
DVD『痛みがぬける　ゆるやか操体法』北村翰男監修（農文協）、『操体法基礎テキスト』（奈良操体の会発行）

操体らいふ　主宰
落合　久美

1990年　出産を機に食・環境問題と向き合う。その後、操体法と出会い、息・食・動・想・環境との調和を学び、「天然自然の法則」で生きる「操体法の実践」をライフワークとする。
2004年　文化センターやカルチャー教室で「操体法」「介護操体」の講師を務める他、クリニック・デイケアセンターでの操体法指導、小学生の姿勢教室や PTAなど、大阪を中心に関西圏で普及活動を行っている。

資格・活動
操体らいふ　主宰
歯科衛生士（大阪府立公衆衛生学院）
ヘルパー2級
中医薬膳指導士（上海中医薬大学附属日本校）
志体術インストラクター（国際徳育協会　武学）

和治鍼灸院 院長 鍼灸師
三宅　悠平

2002年、大阪府八尾市にある森鍼灸院の院長・森美智代先生に師事する。
ここでは経絡治療で施術するかたわら、食事療法と西式健康体操を伝えて生活習慣に組み込んでもらうなど、習慣改善も併用しながら治療を行う。

その経験を経て、操体法を学んだ事で「息・食・動・想環」という5項目によって身体がどう変わっていくかを改めて観察する別視点を持ち、前以上に解ることが増えた。
今回はその中でも、西式健康体操の「合掌合蹠運動」がスムーズに習慣化するように操体法の理合いを取り入れることによって起きる小さな変化を実感していただきたい。